

スポーツと運動における心臓自律神経系活動の変化と適応

著者	菅原 順
著者別名	Sugawara Jun
内容記述	筑波大学博士（体育科学）学位論文・平成12年3月24日授与（甲第2437号）
発行年	2000
URL	http://hdl.handle.net/2241/6548

謝辞

稿を終えるにあたり、学群、修士課程及び博士課程の6年間にわたり、懇切丁寧なご指導・ご助言を賜りました指導教官である筑波大学体育科学系教授・松田光生先生に心から感謝いたします。また、副指導教官として、論文指導ならびに円滑な研究活動の遂行に全面的にご協力をいただきました筑波大学体育科学系教授・目崎登先生、高松薫先生に深く感謝いたします。

本研究を遂行するに際し、多くの方々のご協力をいただきました。つくばマラソン及び大学陸上競技選手の夏期合宿での実験では、筑波大学体育センター講師・鍋倉賢治先生にご協力と様々な助言をいただきました。測定データの統計処理については、筑波大学体育科学系講師・西嶋尚彦先生に専門的なご指導をいただきました。中高齢者での実験では、筑波大学先端学際領域研究センター教授・岡田守彦先生、同センター講師・久野譜也先生にプロジェクト研究に参加する機会を与えていただき、また、測定では、同センター講師・宮崎りか先生、多くのプロジェクト関係者の方々にご協力をいただきました。久野先生と体育科学研究科村上晴香氏には、若齢者を対象にしたトレーニング実験で多大なご協力をいただきました。筑波大学体育科学系助教授・鯉坂隆一先生には、ご協力と循環器内科医師としての貴重なご助言をいただきました。筑波大学体育科学系助手(現臨床医学系)・前田清司先生及び大妻女子大学助手(現九州保健福祉大学講師)・柿山哲治先生には、実験にご協力いただくと共に、学位取得に関する多くの貴重なご助言をいただきました。また、測定及び被験者として、筑波大学スポーツ医学研究室学生をはじめとする諸兄、及び大洋村の皆様にも多大なご協力をいただきました。皆様に厚く御礼申し上げます。